

# 15. 令和5年度 山梨県てんかん地域診療連携体制整備事業報告書

山梨大学医学部附属病院 てんかんセンター 加賀 佳美

## 令和5年度の活動報告

### 1. 研修医、専門医への教育活動

#### (1) 山梨大学医学部附属病院 てんかんカンファレンスの開催

以下の通り、山梨大学にてWeb/現地のハイブリット開催を行い、関連病院などからも多数の参加者があり、てんかん専門医育成のための研修もかねたカンファレンスを開催した。

- 1月 小児てんかん児の睡眠と認知機能 担当 加賀
- 2月 てんかんと突然死 -溺水と生活指導- 担当 高田
- 3月 PER 単剤での脳腫瘍関連症候性てんかんコントロールの試み 担当 荻原
- 4月 てんかんと予防接種 担当 糸山
- 5月 Fictitious epilepsy in medical child abuse 担当 藤岡
- 6月 治療終結にいたらない CECTS の1例 担当 溝呂木
- 7月 てんかんセンターで院内紹介となった精神科症例のまとめ 担当 安田
- 8月 CSWS の2症例と文献的考察 担当 田丸
- 9月 成人のてんかん患者における睡眠時無呼吸症候群の発症について 担当 沢登
- 10月 熱性けいれんガイドライン 2023 お前に一言物申す！ 担当 佐野
- 11月 けいれん重積ガイドラインは治療方針に影響を与えたか？ 担当 深尾
- 12月 グリア細胞依存的なてんかん原生・けいれん原生機構 担当 佐野

今後も月1回のカンファレンスを行い、山梨県内のてんかん専門医の育成とてんかん関連施設との研修を行っていく予定である。

#### (2) 専門医師(精神科医)、若手医師、研修医への啓発活動

県立北病院(精神科)との若手勉強会の実施(月1回)

2023年7月12日:現場で役立つ脳波判読を体得する 講師 佐野史和

2023年8月9日:簡単に脳波を勉強するための「コツ」講師 佐野史和

2023年9月13日:意識障害?何の検査をするの?脳波でしよ 講師 佐野史和

### 2. 一般市民への啓蒙活動

・2024年2月10日 てんかん市民セミナー 対面開催 52名の参加があった。  
国立精神神経医療研究センター脳外科部長の岩崎氏をお招きし、てんかんの最新医療について理解を深めた。一般参加者から活発な質疑が行われた。

### 3. 山梨県てんかん地域連携協議会の開催 (令和6年2月10日)

てんかん拠点病院より加賀センター長、佐野副センター長、埴原脳神経外科医師、志村支援コーディネーター、医療関係者として笛吹脳神経外科 上野院長、甲府脳神経外科病院 小林脳神経内科部長、当事者(家族)として、てんかん協会山梨支部代表 葛西氏、県関係機関として富士東部保健所 中根保健所長、オブザーバーとして山梨県消防保安課 大山氏及び事務局が参加して対面で行われた。

#### 1) てんかん支援拠点病院の活動実績の報告

山梨大学医学部附属病院てんかんセンター(支援拠点病院)より令和5年度の実績について説明した。また、てんかんセンターの人事変更があり紹介した。(脳外科の荻原副センター長の移動により、小児科の佐野副センター長に変更となった)

2) てんかん発作時の救急搬送状況について、県内各地域消防本部へのアンケート調査を実施し、その結果について県より報告があった。搬送困難事例が、小児、成人とも認められ、地域での隔たりなどがあり、その対策について意見交換を行った。また、搬送時の患者情報の重要性について討議し、患者カードを普及していくことなどを確認した。

山梨てんかん市民セミナー

参加費 無料

日時: 2024年2月10日(土) 14時00分-15時30分  
場所: 山梨大学医学部キャンパス 臨床大講堂

「てんかん治療の最前線」  
開会あいさつ: 山梨大学小児科学副内産教授、てんかんセンター長 加賀佳美先生

講演 1部 14:00-14:30  
座長: 精神科 安田和幸先生

「山梨大学のてんかん診療」  
講演: 山梨大学小児科、てんかんセンター 特任助教 佐野史和先生

講演 2部 14:30-15:30  
座長: 小児科 加賀佳美先生

「てんかんの最新治療」  
講演: 国立精神・神経医療研究センター、脳神経外科部長 岩崎真樹先生  
開会あいさつ: 山梨大学脳神経外科学副内産教授 埴原光人先生

【お問い合わせ先】  
山梨大学医学部 荻原・高田  
TEL:055-273-9732

主催: 山梨大学医学部附属病院てんかんセンター(本セミナーは山梨県民会館によるものです)